

スマートシティ推進プロジェクト・チームの設置について

1 目的

スマートシティの実現に向けた取組が国・地方において活発化していくことが見込まれる中、本市がICT等の先進技術をいち早く導入し、市民サービスの向上や社会課題の解決等に迅速に取り組んでいくため、スマートシティに係る取組のスピードを加速化させ、分野横断に取り組むための体制強化を図るもの

2 これまでの経過

平成31年3月15日～ 国土交通省「スマートシティモデル事業^{*1}」公募開始
4月24日 「モデル事業」の申請

<p>【モデル事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・ルネッサンス大谷の実現 (自動運転の社会実験等)・スマート・モビリティサービスの実現 (観光型MaaS^{*2}の検討等)・スマート・ホスピタリティの実現 (顔認証キャッシュレスの社会実験等)・スマート・エネルギーマネジメントの実現 (電力の見える化^{*3}の検討等)・データ・プラットフォームの構築 (デジタルツイン都市モデル^{*4}の活用等)	<p>【Uスマート推進協議会(構成団体等)】</p> <p>宇都宮市 宇都宮ライトレール株式会社 関東自動車株式会社 KDDI株式会社 国立大学法人宇都宮大学 東京ガス株式会社 日本電気株式会社 早稲田大学</p> <p>(五十音順)</p>
---	--

令和元年 5月31日 「先行モデルプロジェクト」として採択(全国で15事業)
7月30日 「Uスマート推進協議会」設立総会
(以下、「協議会」という。)
8月10日～13日 大谷地域における自動運転車両の社会実験の実施

- ※1 AI, IoT等の新技術, 官民データをまちづくりに取り入れ, 持続可能で分野横断的な取組を目指し, 国土交通省が都市・地域の課題に係るソリューションシステムを実装するモデル事業を公募したもの
- ※2 多様な交通手段を統合し, 利用者の目的にあった最適な手段の組み合わせを提供するサービスで, アプリなどで検索, 予約, 決済までを一括で行うことができる仕組み
- ※3 電気の消費量をリアルタイムで確認し, 電力負荷の軽減やピークカットなどを効果的に行うことを目指すもの
- ※4 公共が保有するデータと民間のデータを連携させ, 現実空間をサイバー空間に再現した「仮想都市」を構築し, 様々な施策等のシミュレーションを行うことができる仕組み

3 組織体制

(1) 名称

スマートシティ推進プロジェクト・チーム

(2) 設置根拠

「宇都宮市プロジェクト・チーム設置規程」

(3) 構成委員

リーダー：総合政策部次長

サブリーダー：行政経営部次長，情報化推進担当副参事

メンバー：財政課長補佐，政策審議室長補佐，交通政策課長補佐，
情報政策課長補佐，環境政策課長補佐，都市魅力創造課長補佐，
観光交流課長補佐，L R T企画課長補佐，L R T整備課長補佐

事務局：プロジェクト・チームは，政策審議室内に設置し，事務局は政策審議室が担う。

(4) 所掌事項

- ・ 協議会が策定する「スマートシティモデル推進計画」や「先行モデルプロジェクト」の支援に関すること
- ・ スマートシティの推進に係る新たな取組の検討

(5) 設置期間

令和元年9月～令和2年3月（※）

※令和2年度以降も，取組の新たな展開を見据え，チームの再編や延長を検討する。

(6) その他

- ・ 先行モデルプロジェクトを着実に推進するため，次の5つのワーキングを設置する。
- ・ ワーキングの設置に当たっては，各ワーキングにワーキングリーダー・ワーキングサブリーダーを選任する。
 - ① ルネッサンス大谷・ワーキング【都市魅力・観光分野】
 - ② スマート・モビリティ・ワーキング【交通分野】
 - ③ スマート・ホスピタリティ・ワーキング【都市魅力・観光分野】
 - ④ スマート・エネルギー・ワーキング【環境分野】
 - ⑤ データ・プラットフォーム・ワーキング【情報分野】

4 スケジュール

令和元年 9月26日（木） プロジェクト・チーム発足